

2025年2月27日

各 位

会 社 名 株式会社JVCケンウッド  
代表者名 代表取締役  
社長執行役員 最高経営責任者（CEO）  
江口 祥一郎  
（コード番号6632 東証プライム市場）  
問合せ先 企業コミュニケーション部長  
木村 剛  
（TEL 045-444-5310）

## 監査等委員会設置会社への移行に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2025年6月開催予定の第17回定時株主総会で承認可決されることを条件として、監査役会設置会社から監査等委員会設置会社へ移行することを決議しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 移行の背景および目的

当社は、コーポレート・ガバナンスの強化によって経営における意思決定の透明性と効率性を高め、企業価値の向上を図ることを経営の最も重要な課題の一つととらえています。そのため、「経営と執行の分離」、「社外取締役・社外監査役の招聘」、「内部監査部門の設置によるチェック機能向上」の体制をとり、グループを挙げた内部統制システムの整備を進め、コーポレート・ガバナンスの充実、強化を図ることを基本としています。

以上の基本的な考え方にに基づき、当社は、2008年10月の設立以降、コーポレート・ガバナンスの強化に取り組んできました。

また、当社は、取締役会のさらなる権限委譲によるモニタリング・ボード化や独立社外取締役の過半数化やダイバーシティのさらなる推進など、コーポレート・ガバナンスの高度化への取り組みを継続していくことを重要課題として捉えており、最適な機関設計について研究、検討を重ねてきました。その結果、当社取締役会は、今後、意思決定や業務執行の迅速化および監督機能の強化を推進するためには、監査役会設置会社から監査等委員会設置会社に移行することが妥当であると判断し、機関設計の変更を決議しました。

#### 2. さらなるコーポレート・ガバナンスの高度化に向けて

当社は、監査役会設置会社から監査等委員会設置会社に変更することにより、取締役会は当社グループ全体の経営の方向性、遵守事項を示す機関として監督機能の向上を通じて企業価値の向上を図ってまいります。

当社は、取り巻く事業環境の変化に迅速かつ柔軟に対応していくため、今後も意思決定の迅速化などのコーポレート・ガバナンス改革を進めて「攻めのガバナンス」にも取り組み、株主・機関投資家をはじめとする多くのステークホルダーの皆様の要請に応じてまいります。

#### 3. 移行の時期

2025年6月開催予定の第17回定時株主総会において、移行に必要な定款変更と取締役選任について承認可決後、監査等委員会設置会社に移行する予定です。

#### 4. その他

監査等委員会設置会社移行後の取締役体制は、本日発表の「本年度定時株主総会後の新経営体制および代表取締役の異動ならびに2025年4月1日付 新執行体制に関するお知らせ」をご覧ください。また、移行に伴う定款変更の内容等は、決定次第お知らせいたします。

以 上